

# 活動名：飛騨市で就農しませんか?～農業フェアへの出展～

実績:522千円

【内訳】

委託費 297千円

旅費 95千円

消耗品費 130千円

## 【活動目的・背景】

飛騨市は、有機農業に限らず農業従事者の高齢化や後継者不足が深刻な問題となっており、新たな担い手を確保することが喫緊の課題となっています。しかし、これまで飛騨市に就農を希望される方の選択肢は、トマト農家(トマト研修所)か畜産農家(飛騨キャトルステーション)しかありませんでした。

そのため、有機農業で新規就農を希望する方の受け皿として飛騨市有機農業推進協議会の会員のうち2軒を受入先として位置づけ、有機農家を増やす取り組みを行ってきました。

## 【活動内容】

ターゲットを関東・関西圏に在住の30代～40代とし、出展1カ月前からSNS広告で出展情報とイベント情報の周知を図ったほか、夏は農業、降雪期である冬は和紙職人やケーキ職人、味噌職人に変わり、飛騨特有の立地を活かした独自のライフスタイル(半農半X)を実践している飛騨市有機農業推進協議会のメンバーの「生き方」や「移住を決めた理由」などをフェアに訪れた方々に説明しました。

### ■フェア出展 年6回

07.27 マイナビ農林水産フェス(大阪)

08.31 新農業人フェア(農業EXPO)(東京)

09.28 アグリチャレンジフェア(大阪)

10.27 新農業人フェア(農業EXPO)(大阪)

11.23 農林水産フェス(名古屋)

12.08 新農業人フェア(農業EXPO)(東京)

※7月～9月にかけてマイナビ農業SNS(Facebook等)にて広告発信を実施

## 【成果】

アンケートの結果、フェアに訪れる方々の行動心理として特に多いのは「転職を検討しているが農業は選択肢のひとつ」である方、次いで「将来的に就農を検討しているが具体的なアクションはしていない」方が多く、全6回の出展で約60名程度の方と面談することができましたが、有機農業での新規就農者の獲得には至りませんでした。

そのため次年度は、こうした方々に飛騨の風土や農家の暮らしをオンラインで学べるセミナーを開催し、飛騨をより身近に感じるキッカケにし、イメージをより鮮明にさせていただくことで、飛騨市での就農をより現実的に捉えてもらえるような取り組みにしたいと考えています。



就農フェア出展の様子



自然豊かな飛騨の地で  
有機農業を体験してみませんか?

#里山留学 #種を蒔くプロジェクト #有機農業研修施設新設 #シェアズインレジデンス

マイナビ農業(SNS)での宣伝広告